

株式会社モンキャラメル ユーザー参加型の双方向配信制御システム 「子犬になりたーい！」の開発・運営

企業の概要

当社は、お客様の顔写真からお客様に似たオリジナルのアニメーションキャラクターを作成し、そのキャラクターを印刷したアパレル、雑貨などをお客様の目の前で製造・販売するシステム「プリワン！」を提供・運営している。また、ここで作成されたお客様専用のキャラクターは、インターネットのウェブサイト『子犬になりたーい！ [I wanna be puppy!]』で配信されるアニメーションの中に「出演者」としても登場し、アニメのメインキャラクターがお客様専用のキャラクターと対話しながら物語が進行するなど、子犬のアニメの世界に入り込んで楽しむことができる。

百貨店などで「プリワン！」を使ったイベントを行うと多数のお客様が長い行列を作ってオリジナルキャラクターの作成に参加し、その参加者の約7割がウェブサイトにユーザー登録される。口コミで情報が広がって登録者数が増え、現在、ウェブサイトは1日に最高 98 万人以上がログインする有数のアニメコンテンツに成長している。

このウェブサイトの利用者は、3歳～中学1・2年生とその母親やOL等で、利用者の92%を女性が占めており、子どもだけでも安心して利用できるサイトとして評価されている。

「プリワン！」による百貨店でのイベントの様子



「プリワン！」やウェブサイトで作成されるオリジナルのアニメキャラクターを自社の製品あるいは媒体に利用することで、販促に活用してもらうことができる。

『子犬になりたーい！ [I wanna be puppy!]』



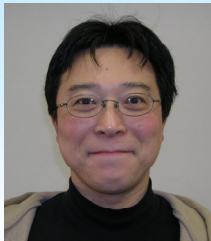
また、高い集客力を誇るウェブサイトでは、企業への広告スペースも提供している。ウェブサイトのユーザーは、スポンサーの広告を最後まで見るとポイントを獲得できるシステムを採用し、広告の視聴を高め、現在毎月1万5千時間の広告が視聴されている。

■年表■

平成 14 年	会社設立 アニメーションの双方向配信システムの開発に着手
平成 16 年	双方向ウェブコンテンツ『子犬になりたーい！ [I wanna be puppy!]』公開
平成 18 年	携帯電話向けサイトをオープン

出展の理由ときっかけ

中小機構からの勧めもあって、ファンド in Kansai への出展を決めた。中小機構には、会社設立時から、全面的にサポートを受けている。



代表取締役
稲葉 一巳

会社概要

本社 〒564-0052 大阪府大阪市中央区備後町4-2-10

電話 06-6221-3266 FAX 06-6221-3267

URL <http://www.wanpuppy.com/>

業務内容 オリジナルキャラクターの使用権の販売、オリジナルCRMシステムの使用権の販売、アパレル製品の企画・製造・卸・販売

設立年 平成 14 年2月

資本金 3,850 万円(平成 19 年 11 月現在)

従業員 3名(平成 19 年 11 月現在)

出展に対する期待

ファンド in Kansai への出展では、ベンチャーキャピタルなど、投融資をしてくれる企業との出会いを期待していた。

ブースを来訪した多くの方々にまとめて説明することで、多くのベンチャーキャピタルと個別に話をする時間が確保できた。

出展による成果

投融資の確定

10 社以上のベンチャーキャピタルと商談でき、その後、1 社からの投資(5,400 万円)が確定した。さらに別の 1 社からも投資の申し出があり、現在交渉中である。

業務提携に向けた商談の進展

ベンチャーキャピタルから銀行を経由して、テレビ局の紹介を受けた。当社のウェブサイトにてテレビ局のキャラクターを登場させたり、テレビ局主催のイベントで「プリワン！」を使ったりと、テレビ局とは様々な業務提携ができる可能性がある。

また、代理店と契約を結び、業務を拡大することも考えている。

成功のポイント

システムを実感できるプレゼンテーション

システムの仕組みを短時間で詳細に説明するのは難しいため、来場者に実際にウェブサイトを見ってもらうことにした。ウェブサイト上のユーザーが獲得しているポイントのランキングが刻々と変化する様子を見ってもらうことで、多数のユーザーがアクセスしていることをリアルタイムで示すことができた。

事業リスクの低さを的確に説明

大阪の中小企業と聞くと、モノ作り企業のイメージが強いのか、来場者にはコンテンツビジネスに対して理解してもらうことが難しかった。

当社は、コンテンツビジネスの方が、モノ作り企業よりもずっと事業リスクが低いと考えている。なぜ、当社のビジネスのリスクが低く、成長が期待されるのかということを的確に説明し理解してもらうことに努めた。

今後の事業展開

すでに運用を開始している英語版のシステムの拡充と英語以外の多言語化を進める。各種言語に対応したシステムを当社で開発し、コンテンツを海外の企業に販売して、現地でオペレーションを行うことを予定している。

また、会社の信用力を高め、多くのユーザーに当社のコンテンツを安心して利用して頂くため、株式上場を目指したい。

今後出展する企業に対して

投資家には、ベンチャー企業の夢に投資したいと考えるタイプと資金の回収を重視するタイプの2種類があると考えている。ファンド in Kansai などのイベントには、夢に投資したいと考える投資家も多く来場していると感じる。

夢に投資する投資家に出会えば、企業はリラックスして事業に取り組み、力をためて一気に売上を伸ばすことができるのではないかと。